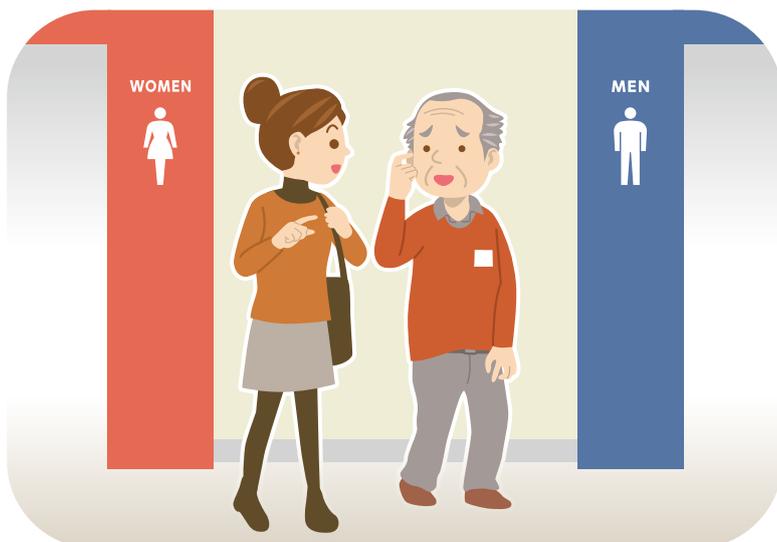


こんなことに配慮しましょう

支援する人の態度が認知症の人に伝わります。一人の大人として尊重した態度で応対し、ゆとりを持って穏やかに話しかけましょう。まず、本人の話を聞くことが大切です。そして、時間がかかってもよいことを伝え、その人のペースに合わせて見守ります。日によって、また、時間によって、調子の良いときと悪いときがあります。

なじみのある地域の人たちの身近な支援が、本人と介護する家族を安心させます。いつも同じように接することが大切です。

認知症の人が道に迷っていたら、家族に連絡するか家まで誘導しましょう。または交番に連絡してください。



ちょっとした手助けがあれば間違いに気付くことができます。
「男子トイレはあちらですよ」などと声をかけてみましょう。

音声コード

